

附帯施設 二、低濕地々盛用土砂配分

市河港課	八、四〇〇 <small>立坪</small>	四、一〇五・二二〇 <small>立坪</small>	二、九六・八三五 <small>立坪</small>
市下水課	—	七四・四八六	七四・四八六
市道路課	四、〇〇〇	四、四三・〇〇六	四、四三・〇二八
市建築課	五、七〇〇	五二・〇〇〇	五二・〇〇〇
市復興事業局	—	五九・一九六	五九・一九六
計	一八、一〇〇	九、四三・九一〇	八、二五・四四五

八三二

本事業實施以前九月六日第四十七地區及第五十一地區より土砂配給方出願せるに對し、市會へ提案中の土砂配分豫算案實施に至る迄の條件を附し、河港課に於て之が無料配給實施中なりしを、十一月一日より當局に於て之を引繼ぎ土砂供給規定に基き有料配給となしたり、本年度土砂配給契約を爲せしもの六十四件、其の土量一萬五千七百七立坪五合にして此の代金一萬五千八百六圓二十五錢を徵收したり、土砂配給契約及配給土量を各地區別に表示すれば左の如し。

地區	大正十五年 昭和元年 年度配給契約土量	大正十五年 昭和元年 年度配給濟土量	大正十五年 昭和元年 年度配給未濟土量
四四	立坪 一〇三・〇〇〇	立坪 一〇三・〇〇〇	立坪 —
四五	五二・〇〇〇	五二・〇〇〇	—
四六	一、三六・四〇〇	一、三六・四〇〇	—
四七	六八・四〇〇	六八・四〇〇	—
四八	—	—	立坪 一・六〇一

四九	—	—	—
五〇	六九・七〇〇	四八三・九六二	三六五・七三六
五一	三五・〇〇〇	三四九・六五四	八・三四六
五二	—	—	—

月次	併立及測量延人夫	運搬延人夫	計
大正十五年十一月	七二・〇〇	二、〇九一・〇〇	二、一六三・〇〇
同 十二月	五九・〇〇	三、七七〇・〇〇	三、八二九・〇〇
昭和二年 一月	五〇・〇〇	九、一七〇・〇〇	九、二二〇・〇〇
同 二月	六九・七五	九、八五〇・〇〇	九、九四〇・七五
同 三月	二九・六〇	七、八三三・〇〇	七、九三二・六〇
計	三六〇・三五	三三、六九〇・〇〇	三三、〇五〇・三五

土砂配給の爲使用せる土砂揚場四十一箇所面積三千五百八十六坪八合、土砂置場九箇所面積千三百九十五坪にして、其の他工事現場五箇所なり。

第二項 昭和二年度事業實施狀況

本年度供給土量に就き各事業者へ照會せしに、河港課一萬二千五百立坪、道路課三千百四十一立坪合計一萬五千六百四十一立坪供給の回答に接したるのみにして其の他の事業者は残土なし、又は運搬費支出の途なき等の理由に依りて供給拒絶せらる、依て四月二十二日各事業關係者協議の上努めて多量の土砂供給することになりたるに拘らず、遂に其の通知に接せざるを以て再び協議會を開き大約左の通供給せらるゝことゝなれり。

市河港課	一萬七千九百十三立坪	市下水課	八千立坪
市道路課	四千六百七十立坪	市建築課	三千四百立坪

計 三萬三千九百八十三立坪

年度頭初より土砂の需用激増せるに拘らず、河港課道路課以外各事業者の主管工事より残土發生少なく、豫定の供給を受くる能はざるに至る、之を事業者別に見るときは左の如し。

費支出の途なき等の理由に依りて供給拒絶せらる、依て四月二十二日各事業關係者協議の上努めて多量の土砂供給することになりたるに拘らず、遂に其の通知に接せざるを以て再び協議會を開き大約左の通供給せらるゝことゝなれり。

市河港課 一萬七千九百十三立坪 市下水課 八千立坪
市道路課 四千六百七十立坪 市建築課 三千四百立坪

計 三萬三千九百八十三立坪

年度頭初より土砂の需用激増せるに拘らず、河港課道路課以外各事業者の主管工事より残土發生少く、豫定の供給を受くる能はざるに至る、之を事業者別に見るときは左の如し。

事業業者	供給豫定土量	受入土量	同上 (改算)
復興局第二出張所	立坪	立坪 四三・二四六	立坪 四三・二四六
同 第四出張所		三七・九〇	二五・〇四五
市河港課	一七、九三	一八、四二〇四	一三、六〇・三九八
市下水課	八、〇〇〇	二、八九・一九九	二、六五・四〇八
市道路課	四、六七〇	四、三六・六四九	三、七八・五二
市建築課	三、四〇〇	一、八五・二七	一、六九・四八
市橋梁課		五三六・五二	四九六・五五
市復興事業局		一六・八八二	一五・七六
計	三三、九三	二八、五九・五八	二二、九九・三七

昨年度末より土地區劃整理に伴ふ建物移轉工事進捗し、従つて土砂の需用益激増せるに拘らず其の供給之に伴はず、止むを得ず實地踏査の上急を要するものにして土砂揚場(置場)及運搬路等の状況を調査し、且土砂供給状況に應じ適當に割當配給をなしたり、而して土砂配給を契約せしもの百八十四件、其の土量二萬五千五百八十六立坪八合にして、之が代金三萬二千三百八十圓二十錢を徴收したり。土砂配給契約及配給土量を各地區別に表示すれば左の如し。

附帶施設 二、低濕地々盛用土砂配分

附帯施設 二、低濕地々盛用土砂配分

地 區	昭 和 一 年 度 配 給 契 約 土 量	前 年 未 濟 土 量	計	昭 和 二 年 度 配 給 土 量	昭 和 一 年 度 未 濟 土 量
四 四	立坪 二七五・五〇〇	立坪 	立坪 二七五・五〇〇	立坪 一六八・四六〇	立坪 一〇七・〇四〇
四 五	二、四九・二〇〇		二、四九・二〇〇	二、一九・六五〇	五〇・四五〇
四 六	四七六・九〇〇		四七六・九〇〇	四六・八一九	六〇・〇八一
四 七	二、八七〇・五〇〇		二、八七〇・五〇〇	二、七〇〇・九七九	七九・五三
四 八	一、二二・八〇〇	一・六〇一	一、二三・四〇一	一、二三・四〇一	
四 九		三六五・七七八		九八二・一三八	
五 〇	五九六・四〇〇	八・三四六	九八二・一三八	六四〇・六四二	二三・三四四
五 一	六五五・六〇〇		六五五・六〇〇	二六・一〇〇	
五 二	二六・一〇〇		二六・一〇〇	五六・四八六	三・七二四
五 三	五三〇・二〇〇		五三〇・二〇〇	六九〇・〇三四	一〇一・六六六
五 四	八九一・七〇〇		八九一・七〇〇	七五三・七三〇	六・七七〇
五 五	七六〇・五〇〇		七六〇・五〇〇	四九三・八一	一〇七・一九九
五 六	六〇一・〇〇〇	五八八・四三三	六〇一・〇〇〇	三、五九・一七〇	二七九・四五三
五 七	三、二三〇・二〇〇		三、八八・六三三		
五 八				八二・〇九〇	一四三・二〇〇
五 九	九四・三〇〇		九四・三〇〇	二、六二・五〇九	六三・〇九一
六 〇	二、七四・六〇〇		二、七四・六〇〇		

六 一	四四八・三〇〇	一〇八・四四〇	五五六・七四〇	四九八・八八〇	九七・八六〇
六 二	一、六八・四〇〇	一八六・六三三	一、八七・〇三三	一、七二・二〇二	一五三・四六一
六 六	一、二八五・七〇〇	五三三・七四六	一、八一九・四四六	一、七五・七八八	五二・六五八
計	二、五八六・八〇〇	一、八〇三・五七七	三、三九〇・三七七	二、九九九・八七九	一、四三九・四七九

附帯施設 二、低濕地々盛用土砂配分

月	昭和二年											計	
	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二月	十一月	一月		
別	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
併立及測量延人夫	八四・四〇	二五・六〇	四五・〇〇	三五・〇〇	八・〇〇	二九・〇〇	五・二〇	三六・〇〇	五三・〇〇	二九・〇〇			
運搬延人夫	二、九四六・〇〇	五、六九四・〇〇	七、四八六・〇〇	四、七七四・〇〇	八、〇五八・〇〇	八、八〇〇・〇〇	一一、八四三・〇〇	九、九〇二・〇〇	八、六四一・〇〇	六、一〇〇・〇〇			
計	三、〇三〇・四〇	五、八〇九・六〇	七、五三二・〇〇	四、八四九・〇〇	八、〇六六・〇〇	八、八二九・〇〇	一一、八四四・二〇	九、九四〇・〇〇	八、六四四・〇〇	六、二一九・〇〇			

八三七

測量及土砂併立の爲本市に於て使役せる人夫並土砂受領代表者が置場(揚場)より各土盛場所へ運搬の爲使役せる人夫は一日平均延人員二百六十五人五分強にして、之を月別に示せば左の如し。

計	六六	六二	六一
併立及測量延人夫	二、五六・八〇〇	一、二八五・七〇〇	一、六八八・四〇〇
運搬延人夫	一、八〇三・五七七	五三三・七四六	一〇八・四四〇
計	三、三六〇・三七七	一、八一九・四四六	一、七九六・八四〇

計	六〇	五九	五八	五七
併立及測量延人夫	二、七四・六〇〇	九四・三〇〇		三、一三〇・二〇〇
運搬延人夫				五八八・四三三
計	二、七四・六〇〇	九四・三〇〇		三、八八八・六三三

附帯施設 二、低湿地々盛用土砂配分

八三八

合 計	昭和三年	
	二 月	三 月
	九、二六九・〇〇	九、二六九・〇〇
	一三、九三三・〇〇	一三、九三三・〇〇
四八、二〇〇	九六、四三六・〇〇	九六、四三六・〇〇

土砂配給の爲使用せる土砂揚場九十七個所面積六千八百八十五坪九合七勺、土砂置場二十七個所面積千五百七十坪二合にして、其の他工事現場十八個所なり。

前記下水課工事中江東兩區下水工事幹線を除くより發生の残土は全部宅地土盛用に供給することに協議済なるに拘らず、復興局は道路工事實施認可に附帯し下水工事發生残土は當該工事に之を利用すべき指示ありたるが爲、遂に之が供給を受くること能はざるに至る、依て十二月五日復興局及市關係者協議をなし左記の通決議せり。

- 一 幹線以外の下水工事より發生する残土は、原則として全部之を江東兩區宅地盛土用として復興事業局に引渡をなすこと。
- 二 復興事業局に於て引取能はざる旨申出たる残土は之を土木局第四出張所工事課に引渡をなすこと。

十月三日本所區柳原町三丁目十五番地へ江東詰所を移轉す。

第三項 昭和三年度事業實施狀況

本年度配給豫定土量七萬立坪に對し各事業者へ供給土量の照會をなしたるに事業者より残土なき旨の回答に接せり、然るに本年度は建物移轉工事激増其の頂點に達し、土砂の需用も亦益々増大ならむとするに拘らず、事業の根本たる土砂の供給を杜絶せしめらるゝことは本事業の目的を達成し能はざ

る事情なるに鑑み、四月十二日各事業者參集し左表により協議の結果大約復興局一萬三千立坪、河港課九千立坪、下水課八千立坪、道路課三千立坪、橋梁課千立坪、合計三萬四千立坪の供給を承認せり。

第三項 昭和三年度事業實施狀況

本年度配給豫定土量七萬立坪に對し各事業者へ供給土量の照會をなしたるに事業者より殘土なき旨の回答に接せり、然るに本年度は建物移轉工事激増其の頂點に達し、土砂の需用も亦益々増大ならむとするに拘らず、事業の根本たる土砂の供給を杜絶せしめらるゝことは本事業の目的を達成し能はざ

る事情なるに鑑み、四月十二日各事業者參集し左表により協議の結果大約復興局一萬三千立坪、河港課九千立坪、下水課八千立坪、道路課三千立坪、橋梁課千立坪、合計三萬四千立坪の供給を承認せり。

事業局課	工事種類	復興總務部調査	希望土量
復興局	運河改修	七六、一〇〇 ^{立坪}	一六、〇〇〇 ^{立坪}
東京地下鐵道	地下鐵道	八、〇〇〇	—
市河港課	枝川浚渫	二五、五〇〇	一〇、〇〇〇
市下水課	下水	三七、二四二	一六、〇〇〇
市(舊第一)道路課	路面鋪裝	一一、〇〇〇	四、〇〇〇
市(舊第一)道路課	街路擴築	二七、五〇〇	—
市建築課	學校	二六、五〇一	一〇、〇〇〇
市電氣局	地下鐵軌	一〇、四〇〇	四、〇〇〇
市橋梁課	下面鐵軌	四五、〇〇〇	—
計		二六七、一三三	七一、〇〇〇
内宅地用		一八二、〇五〇	

以上協議決定の土量を基礎として配給計畫を爲せり、復興局供給豫定土量一萬三千立坪に對し一萬六千五百六立坪餘の供給を受けたり、其の他費用の一部を負擔し河港課より三千二百七十立坪八合の土砂供給を受けたる等土源開拓に努めたり、然るに下水課供給豫定土量八千立坪の内、幹線街路より發

附帶施設 二、低濕地々盛用土砂配分

附帯施設 二、低濕地々盛用土砂配分

八四〇

生の五千三百餘立坪は當該工事に充當の爲供給を受くることを得ざりしも、結局頭初の全豫定土量よりも豫定及供給共増加を見るに至れり、左に供給豫定土量と供給を受けたる土量とを表示す。

事業者	豫定土量	供給土量	同上(改算)
復興局第一出張所	二、七〇〇・〇〇〇 ^{立坪}	二、六〇〇・〇〇〇 ^{立坪}	二、一八九・七六一 ^{立坪}
同 第二出張所	一三、二四七・〇〇〇	一一、七七六・二八五	九、六六五・二九五
同 第四出張所	一、〇一〇・〇〇〇	一、五九〇・三六六	一、三九九・二五八
市河港課	一三、五〇〇・〇〇〇	一一、〇一一・五〇二	九、三三五・七七九
市下水課	三、七四〇・〇〇〇	三、二五六・四五六	三、二八三・三二二
市道築路課	三、七〇〇・〇〇〇	三、五七二・二六	二、九九五・八七九
市建築課	三、三六一・〇〇〇	四、三五〇・六一九	四、〇二二・七八五
市橋梁課	一、五〇〇・〇〇〇	一、六三二・八五二	一、五三二・二七一
市復興事業局	—	一四七・二六九	一三〇・四九五
計	五二、七六三・〇〇〇	四一、〇七三・七六五	三四、三三七・八三五

備考 河港課豫定及供給土量中には費用一部負擔の分の數量を含む。

移轉建物の増加に伴ひ土砂需用も亦最高潮に達したるに拘らず、上半期は土砂供給意の如くならず且降雨期に入りて供給需用共少なりしが八月より土砂供給事業者數の漸増と復興局及河港課よりの供給俄然増加し、一箇月三千乃至五千五百餘立坪の大量を配給することを得たり、而して本年度に於て土砂配給契約を爲せしもの二百四十三件、其の土量三萬五千六百二立坪五合にして、此の代金五萬

三千四百三圓七十五錢を徴収したり。

土砂配給契約及配給土量を各地區別に表示すれば左の如し。

地 區	昭和三年度 配給契約土量	前年 配給未済土量	計	昭和三年度 配給済土量	昭和三年度 配給未済土量

移轉建物の増加に伴ひ土砂需用も亦最高潮に達したるに拘らず、上半期は土砂供給意の如くならず且降雨期に入りて供給需用共少なりしが八月より土砂供給事業者数の漸増と復興局及河港課よりの供給俄然増加し、一箇月三千乃至五千五百餘立坪の大量を配給することを得たり、而して本年度に於て土砂配給契約を爲せしもの二百四十三件、其の土量三萬五千六百二立坪五合にして、此の代金五萬

三千四百三圓七十五錢を徴収したり。

土砂配給契約及配給土量を各地區別に表示すれば左の如し。

地 區	昭和三年度 配給契約土量	前年 配給未済土量	計	昭和三年度 配給済土量	昭和三年度 配給未済土量
四 四	二、〇五五・六〇〇 ^{立坪}	一〇七・〇五〇 ^{立坪}	二、一七二・六五〇 ^{立坪}	二、一七二・六五〇 ^{立坪}	—
四 五	四、九一〇・七〇〇	五〇・四五〇	四、九七一・一五〇	四、七五四・二一〇	二二七・〇三〇
四 六	二八・二〇〇	六〇・〇八一	一八八・二八一	一四六・三三八	四二・九三三
四 七	三五・七〇〇	七九・五二	四三・二二二	四三・二二二	—
四 八	二、一三〇・一〇〇	—	二、一七〇・一〇〇	二、一七〇・一四二	九一・〇五八
四 九	—	—	—	—	—
五 〇	一、三〇六・七〇〇	—	一、三〇六・七〇〇	一、三〇六・七〇〇	—
五 一	九八〇・九〇〇	一三三・三四	一、〇〇四・二四〇	一、〇〇四・二四〇	—
五 二	—	—	—	—	—
五 三	九四・五〇〇	三・七二四	九八・二二四	六八八・九八二	一三九・二三三
五 四	二、八五・〇〇〇	一〇一・六六六	三、〇五九・六六六	二、七九〇・二三三	二六九・五三三
五 五	一、一七・五〇〇	六・七七〇	一、一八四・二七〇	八九二・四九	二九一・八三
五 六	一、四三二・七〇〇	一〇七・一九九	一、五三九・八九九	一、三三九・四三三	二〇〇・四六六
五 七	八、八三二・二〇〇	二七九・四五三	九、一一一・六五三	八、八四六・七九	二六四・八六三
五 九	三、七〇八・四〇〇	一四三・二二〇	三、八五一・六二〇	三、六五五・七八	一九五・八九二

附帯施設 二、低濕地々盛用土砂配分

九	十	十	十
月	月	月	月
二	一	十	九
月	月	月	月
一五、〇七五	一三、七七一	一〇、五二一	一一、〇三五
一五、〇七〇	一三、六七五	一〇、四六五	一一、九一五
一六	四	五	三

土砂配給の爲使用せる土砂揚場百十二箇所面積六千二百九十九坪九合五勺、土砂置場八十六箇所面積三千六百八十三坪六合にして、其の他工事現場三十六箇所なり。

第四項 昭和四年度事業實施狀況

本年度供給土量につき各事業者より左記の通通知に接す。

- 復興局 二萬五千立坪
- 市河港課 供給餘力なし
- 市下水課 千三百八十七立坪四合
- 市道路課 供給確定數の見込なし
- 市建築課 發生の見込なし
- 市電氣局 二百五十立坪其の他は發生の都度口頭にて通知す
- 市橋梁課 發生の見込なし

計 二萬六千六百三十七立坪四合

建物移轉の狀況により其の需用土量と供給時期とを之に適應順致せしむることは至難なるも事業進捗上最も緊要なる處にして、殊に本年度は區劃整理に伴ふ建物移轉工事の最終期に屬し、従つて連年

附帶施設 二、低濕地々盛用土砂配分

合	昭和四年		
	一	二	三
計	月	月	月
	一三、六三〇	一八、四三三	一六、六九三
四〇	三	八	〇
四〇	三	八	〇
三九、七四三	一六、七六	一八、三六一	一三、三三三

ト工

附帯施設 二、低濕地々盛用土砂配分

土砂供給状況が前半期に少なく後半期に多量なるに反し、本年度は前半期に於て多量の供給を受けざるべからず、幸に復興局及各事業者よりの供給等所期の如く前半期に多く且豫定以上の供給を受け事業進捗上多大の便宜を得たり。
而して供給豫定及供給土量を表示すれば左の如し。

事業局課	豫定土量	受入土量	同上(改算)
復興局第一出張所	10,000.000 ^{立坪}	8,935.040 ^{立坪}	7,130.238 ^{立坪}
同第二出張所	5,000.000	11,033.555	8,835.925
同第三出張所	10,000.000	8,656.050 [△]	6,962.941 [△]
市河港課	1,370.000	854.470	854.470
市下水道課	1,370.000	1,538.800	1,362.250
市道路課	1,370.000	1,884.218	1,752.668
市電氣局	1,370.000	2,493.180	2,109.919
市橋梁課	1,370.000	1,618.444	1,375.562
市土木局第二出張所	1,370.000	969.709	795.131
市復興事業局	1,370.000	322.362	187.433
合計	26,370.000	43,526.633 [△]	38,208.077 [△]

備考 本表中△印は鋸屑を示す。

本年度上半期は土砂の需用頻發せるも之が供給豊富にして配給上何等支障なく圓滑に事業を遂行し

得たるに拘らず、下半期に至り需用遞減し供給過剰の状態となれり、依て土盛未済の街區に對し、之が請求方を勧誘し其の緩和に努めたるも、需用者意外に少なく、止むを得ず過剰土砂の處分方法として既に規定により配給せる街區中、尙其の殘部につき配給希望せるものに對し差支なき程度に追給する方法を採り、本年度に於て二件、其の土量三千六百四立坪四合の特別配給を爲したり。

合 計

二六、三七、〇〇〇

△ 三、五二、六三三
八五、四七〇

△ 二八、二〇八、〇七七
八五、四七〇

備考 本表中△印は鋸屑を示す。

本年度上半期は土砂の需用頻發せるも之が供給豊富にして配給上何等支障なく圓滑に事業を遂行し

得たるに拘らず、下半期に至り需用遞減し供給過剰の状態となれり、依て土盛未済の街區に對し、之が請求方を勧誘し其の緩和に努めたるも、需用者意外に少なく、止むを得ず過剰土砂の處分方法として既に規定により配給せる街區中、尙其の殘部につき配給希望せるものに對し差支なき程度に追給する方法を採り、本年度に於て二件、其の土量三千六百四立坪四合の特別配給を爲したり。

本所區内横十間川改修工事發生殘土より鋸屑八百十五立坪四合七勺發生し、之が供給を受けたるも有償にて引取るものなく、處分に窮したるを以て希望者に無償交附をなしたり。

而して配給契約せしもの(特別配給を含む)百十件、其の土量二萬六千七百七十五立坪三合にして、代金三萬九千二百六十二圓九十五錢を徵收したり、之が配給をなしたる土量を各地區別に表示すれば左の如し。

地 區	昭和四年度 配給契約土量	前年 配給未済土量	計	昭和四年度 配給済土量	昭和四年度 配給未済土量
四 四	立坪 一、八六、三〇〇	立坪 二一七、〇三〇	立坪 二、〇三三、三三〇	立坪 二、〇三三、三三〇	立坪
四 五		四一、九三三	四一、九三三	四一、九三三	
四 六					
四 七		九一、〇五八	一、一〇七、三五八	一、一〇七、三五八	
四 八	立坪 一、一六、三〇〇				
四 九					
五 〇	四〇、七〇〇		四〇、七〇〇	四〇、七〇〇	
五 一	二八、五〇〇		二八、五〇〇	二八、五〇〇	
五 二	五〇、〇〇〇		五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	

附帶施設 二、低濕地々盛用土砂配分

八四五

トエ

附帯施設 二、低濕地々盛用土砂配分

八四六

計	地區外	六六	六二	六一	六〇	五九	五八	五七	五六	五五	五四	五三
二六、一七三・三〇	一〇三・一〇		二、一四二・二〇	六、〇〇二・〇〇	三、七五二・四〇	一、七六四・七〇		二、九三二・二〇	一、五〇一・八〇	一、三五五・七〇	三、〇七九・五〇	三三七・九〇
二、六四一・四三			五、〇九五	四二七・五八五	三六六・六六	一五九・八九二		二六四・八六二	二〇〇・四六六	二九二・八三二	二六九・五三三	一三九・二三二
二八、八四九・四三	一〇三・一〇〇		二、二二二・九五	六、四一九・五八五	四、一九〇・〇六	一、九六〇・五九二		三、一八七・〇六二	一、七〇二・二六六	一、五七七・五三二	三、三四九・〇三三	五七七・一三二
二八、二〇八・〇七	一〇三・一〇〇		二、二二二・九五	六、〇九七・七七	三、八七三・三六	一、九六〇・五九二		三、一八七・〇六二	一、七〇二・二六六	一、五七七・五三二	三、三四九・三三五	五七七・一三二
四、七七八				三九八・八四八	二四六・八〇〇						四・七八	

備考 本表中に無償交附したる鋸屑八百十五立坪四合七勺は含まず。

測量及土砂拵立の爲本市に於て使役せる人夫並土砂受領者が置場揚場より各土盛場所へ運搬の爲、使役せる延人夫は一日平均二百八十二人にして、之を月別に調査するに左の如し。

月	別	拵立及測量延人夫	運搬延人夫	計
一四	月	一人	一三、四八〇人	一三、四八〇人

昭和四年

八 七 六 五

月 月 月 月

四 五 一四 |

一三、〇八九
一〇、六三三
一三、五五五
一三、〇六三

一三、〇八九
一〇、六三六
一三、五六〇
一三、〇六七

月別	併立及測量延人夫	運搬延人夫	計
四月	1人		
	13,480人		13,480人

計	昭和五年			昭和四年							
	三月	二月	一月	十二月	十一月	十月	九月	八月	七月	六月	五月
	101,825	101,825	101,825	101,825	101,825	101,825	101,825	101,825	101,825	101,825	101,825
	1,745	1,745	1,745	1,745	1,745	1,745	1,745	1,745	1,745	1,745	1,745
	4,590	4,590	4,590	4,590	4,590	4,590	4,590	4,590	4,590	4,590	4,590
	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660	5,660
	5,587	5,587	5,587	5,587	5,587	5,587	5,587	5,587	5,587	5,587	5,587
	5,698	5,698	5,698	5,698	5,698	5,698	5,698	5,698	5,698	5,698	5,698
	9,185	9,185	9,185	9,185	9,185	9,185	9,185	9,185	9,185	9,185	9,185
	6,692	6,692	6,692	6,692	6,692	6,692	6,692	6,692	6,692	6,692	6,692
	13,063	13,063	13,063	13,063	13,063	13,063	13,063	13,063	13,063	13,063	13,063
	13,555	13,555	13,555	13,555	13,555	13,555	13,555	13,555	13,555	13,555	13,555
	10,633	10,633	10,633	10,633	10,633	10,633	10,633	10,633	10,633	10,633	10,633
	13,089	13,089	13,089	13,089	13,089	13,089	13,089	13,089	13,089	13,089	13,089
	101,825	101,825	101,825	101,825	101,825	101,825	101,825	101,825	101,825	101,825	101,825

土砂配給の爲使用せる土砂揚場八十一箇所面積九千五百二十七坪、土砂置場三十箇所面積五千七百坪にして、其の他工事現場十箇所なり。

第五項 昭和五年度事業実施状況

土地區劃整理に伴ふ建物移轉工事は前年度に於て既に完了せるを以て、専ら各所に點在せる盛土未済の低湿地及非焼失地の地揚を完了せむとす、而して供給土量の通知を受けたるもの左の如し。

- 復興局 一萬三千立坪
- 附帯施設 二、低湿地々盛用土砂配分

附帯施設 二、低濕地々盛用土砂配分

市河港課 残土なし

市下水課 九百九十七立坪

市道路課 二千六百八十二立坪

市建築課 残土發生見込なし

市電氣局 四百二十立坪

市橋梁課 五百立坪

計 一萬七千五百九十九立坪

前記土源を基礎として配給を計畫せり、然るに本年度搬入状況は順調なりしも需用之に伴はず、却て供給過剰となり之が處分に相當努力を要したり、而して供給豫定及供給を受けたる土量を表示すれば左の如し。

事業局課	豫定土量	受入土量	同上(改算)
復興局第二出張所(河川係)	立坪 一三、〇〇〇・〇〇〇	立坪 一三、七八〇	立坪 一〇九、四八八
同 第四出張所(河川係)	一七、二九五・九四〇	一七、二五〇・〇〇〇	一三、四七五・六四九
市 下水課	九九七・〇〇〇	二、八三〇・〇九一	二、四六四・二九一
市 道路課	二、六八二・〇〇〇	一、四〇八・八七八	一、二〇〇・九八七
市 電氣局	四二〇・〇〇〇	一、一四一・五四〇	九四五・三五二
市 橋梁課	五〇〇・〇〇〇	一一〇・六八八	九三・七〇九
合計	一七、五九三・〇〇〇	三三、九三三・九一七	一八、二九四・四一六

本年度土砂需用區域は燒失地内各所に點在せるものと非燒失地の一團にして非燒失地即ち本所區向島方面の状況は元來田園沼池の急激に變遷せる市街地にして溝渠設備の見るべきものなく常に悪水停止し道路、宅地は低潤にして一朝降雨に際會せむか、忽ち汚水氾濫床を没する泥海と化する状態にして居住者は常に地揚の必要を痛感す、然れども該區域は河川の便悪しく水運に依る土砂の陸揚すべき

市道課	二、六八二・〇〇〇	一、四〇八・八七六	一、二〇〇・九八七
市電氣局	四〇〇・〇〇〇	一、一四一・四〇〇	九四五・三五二
市橋梁課	五〇〇・〇〇〇	一一〇・六八八	九三・七〇九
合計	一七、五九三・〇〇〇	三、九三三・九一七	一八、二九一・四一六

本年度土砂需用區域は燒失地内各所に點在せるものと非燒失地の一團にして非燒失地即ち本所區向島方面の狀況は元來田園沼池の急激に變遷せる市街地にして溝渠設備の見るべきものなく常に悪水停止し道路、宅地は低潤にして一朝降雨に際會せむか、忽ち汚水氾濫床を没する泥海と化する状態にして居住者は常に地揚の必要を痛感す、然れども該區域は河川の便悪しく水運に依る土砂の陸揚すべき場所なきを以て、自ら陸運による土砂集積を計畫し所定の集積を成し得たれども、之が配給に方り如何に契約を督勵するも由來現存建物は地震火災に燒失を免れ其の儘存續せるものにして、土盛をなすには之等の移動をなすを要し、從て之に伴ふ經濟上の犠牲多大なるものありて全然土地區劃整理地域内とは事情を異にせるものあるが爲に、或一部を除くの外、殆ど一顧をも與へざる状態にして遂に配給不能の土砂を生ずるに至る、因て特別配給に依り過剩土砂の處分をなしたり、其の件數二件、六百三十五立坪九合なり。

燒失區域即ち區劃整理地區は概して水運による供給土砂の配給に適するを以て此の區域の各所に點在する低潤宅地には専ら水運の土砂配給方に努めたるも財界の不況に伴ひ需用者亦自然不急の工を差控ゆる状態となり需用減退し供給過剩に陥りたるを以て特別配給をなしたるもの三件、千八百二十九立坪九合なり。

前記の外本市公園課より第五十四地區内猿江恩賜公園築造用として、土砂約千五百立坪無償讓渡方交渉あり、時恰も過剩土砂處分方法講究中なりしを以て其の要求に應じ、千五百三立坪八合五勺を讓渡したり。

而して本年度配給契約をなせるもの八十三件、此の土量一萬六千五百五十四立坪二合にして、代金二萬四千二百三十一圓三十錢を徴收したり、之が配給契約及配給をなしたる土量を地區別に表示すれば左の如し。

附帶施設 二、低濕地々盛用土砂配分

附帶施設 二、低濕地々盛用土砂配分

八五〇

地 區	昭和五年度 配給契約土量	前年 配給未済土量	計	昭和五年度 配給済土量
四四	立坪 	立坪 	立坪 	立坪
四五	七〇七・八〇〇		七〇七・八〇〇	七〇七・八〇〇
四六				
四七				
四八	一〇〇・〇〇〇		一〇〇・〇〇〇	一〇〇・〇〇〇
四九				
五〇				
五一				
五二				
五三	二四二・九〇〇		二四二・九〇〇	二四二・九〇〇
五四	八六七・〇〇〇	四・七七八	八七二・七七八	八七二・七七八
五五	九七九・七〇〇		九七九・七〇〇	九七九・七〇〇
五六	九三三・三〇〇		九三三・三〇〇	九三三・三〇〇
五七	一、二九・七〇〇		一、二九・七〇〇	一、二九・七〇〇
五八				
五九	八三三・一〇〇		八三三・一〇〇	八三三・一〇〇
六〇	八七四・五〇〇	二四六・八〇〇	一、一二・三〇〇	一、一二・三〇〇

地 區	外	六一	六二	六六
三、一八六・八〇〇		六、〇六一・九〇〇	一四七・五〇〇	
		三六九・八四八		
三、一八六・八〇〇		六、四五二・七四八	一四七・五〇〇	
		六、四五二・七四八	一四七・五〇〇	
三、一八六・八〇〇		六、四五二・七四八	一四七・五〇〇	

附帯施設 二、低濕地々盛用土砂配分

計	昭和六年				
	三	二	一	十二	十一
	月	月	月	月	月
	三	五	五	三	九
	七、八四	二四二	一七六	三二	九七三
	八、一〇六	二七	二〇一	三三	九八三

八五二

土砂配給の爲使用せる土砂揚場四十一箇所面積七千七百六坪、土砂置場四十六箇所面積五千二百三十四坪なり。

第六項 昭和六年度事業實施狀況

前年度に於て各所に點在せる盛土未済の低濕地及非燒失地の地揚完成に努力せるも、遂に豫期の達成を見る能はず、加之非燒失區域地揚につき本所區會より繼續施行方陳情ありたるを以て本年度も亦事業繼續することとせり、仍て供給を受け得べき残土に就き各事業者へ照會せるに其の回答左の如し。

- 市河港課 五〇、〇〇〇立方米（八、三三三立坪）發生、一立方米に付き陸揚費二十錢負擔すれば供給す
- 市下水課 一三、三四九立方米三六（二、二二四立坪九合）を供給す
- 市道路課 發生の見込なし
- 市建築課 發生の見込なし
- 市電氣局工務課 受渡困難に付供給し能はず

市橋梁課 目下發生すべき見込なきも將來發生の際は改めて協議す

前記土源を基礎として配給を計畫し、尙必要に應じて新規土源を物色することとせり、河港課の残土は宅地地揚に適せざるの故を以て配給を希望するものなきが爲、供給を受けざることをしたるも、道路橋梁課より前年度供給残七百餘立坪及下水課より約千立坪の豫定外供給を受け得たり、而して供

市道路課
市建築課
市電氣局工務課

發生の見込なし
發生の見込なし
受渡困難に付供給し能はず

市橋梁課

目下發生すべき見込なきも將來發生の際は改めて協議す

前記土源を基礎として配給を計畫し、尙必要に應じて新規土源を物色することとせり、河港課の残土は宅地地場に適せざるの故を以て配給を希望するものなきが爲、供給を受けざることとしたるも、道路橋梁課より前年度供給残七百餘立坪及下水課より約千立坪の豫定外供給を受け得たり、而して供給豫定及供給を受けたる土量左の如し。

但し本年度各表の員數は十一月迄は實數に依り、以後は凡て見込數量により掲上したり。

事業局課	豫定土量	受入土量	同上(改算)
市河港課	八、三三三・〇〇〇 ^{立坪}	—	— ^{立坪}
市下水課	二、七五〇・〇〇〇	三、六九六・六九五	三、一五九・四四三
市道路課	—	五〇〇・二六	四三三・七〇
市橋梁課	—	二四四・八三	二〇四・七九七
計	一一、〇八三・〇〇〇	四、四四一・二四	三、七七七・〇〇〇

從來土砂配給は一移轉群を單位として之を施行し來るも、各所に點在せる低濕地並非燒失地中運搬路の便利なる需要者へ配給をなすが爲、自然個人單位となり従つて其の手續の煩雜なるに拘らず事業は遅々として進まず、爲に尙各所に低濕地の殘存するを見る、本年度土砂配給契約を爲せしもの二十九件其の土量二千二百四十一立坪一合にして、此の代金三千三百六十一圓六十五錢、其の他特別配給十件其の土量千五百二十五立坪九合にして、此の代金二千二百八十八圓八十五錢を徴收したり、之が配給契約及配給を爲したる土量を地區別に表示すれば左の如し。

附帶施設 二、低濕地々盛用土砂配分

地 區	昭 和 六 年 度 配 給 契 約 土 量	昭 和 六 年 度 配 給 契 約 土 量	昭 和 六 年 度 配 給 契 約 土 量	昭 和 六 年 度 配 給 契 約 土 量
四 八	六三・三〇〇 ^{立坪}	六三・三〇〇 ^{立坪}	六一	一、〇四九・六〇〇 ^{立坪}
五 四	一三三・八〇〇	一三三・八〇〇	地 區 外	一、六八一・六〇〇
五 七	一四・九〇〇	一四・九〇〇	計	三、七七一・〇〇〇
六 〇	一三九・八〇〇	一三九・八〇〇		

土砂拵立の爲本市に於て使役せる人夫並受領代表者が置場揚場より各土盛場所へ運搬の爲、使役せる人夫は一日平均延人員九人強にして、之を月別に調査するに左の如し。

月 別	拵立延人夫	運搬延人夫	計	月 別	拵立延人夫	運搬延人夫	計
昭和六年				昭和七年			
四 月	二九・〇〇 ^人	二六三・〇〇 ^人	二九二・〇〇 ^人	十 一 月	三二・九〇 ^人	二〇二・〇〇 ^人	二三三・九〇 ^人
五 月	二六・〇〇	二六一・〇〇	二八七・〇〇	十 二 月	二六・四〇	二四一・〇〇	二六七・四〇
六 月	三三・〇〇	三七五・〇〇	四〇七・〇〇	一 月	二五・三〇	二二九・〇〇	二四四・三〇
七 月	二六・七五	二四〇・〇〇	三三三・七五	二 月	二六・四〇	二七七・〇〇	三〇三・四〇
八 月	二九・二〇	二八〇・〇〇	三〇七・二〇	三 月	二七・七〇	三三四・〇〇	三六一・七〇
九 月	二七・五〇	七七・〇〇	一〇四・五〇	計	三三・七五	二、九四一・〇〇	三、二七九・七五
十 月	二七・五〇	一九三・〇〇	二二〇・五〇				

尙土砂配給の爲使用せる土砂揚場十一箇所面積七百五坪、土砂置場二十八箇所面積二千七坪、其の他工事現場二箇所なり。

トエ

復興街路一覽圖

尙土砂配給の爲使用せる土砂揚場十一箇所面積七百五坪、土砂置場二十八箇所面積二千七坪、其の他工事現場二箇所なり。

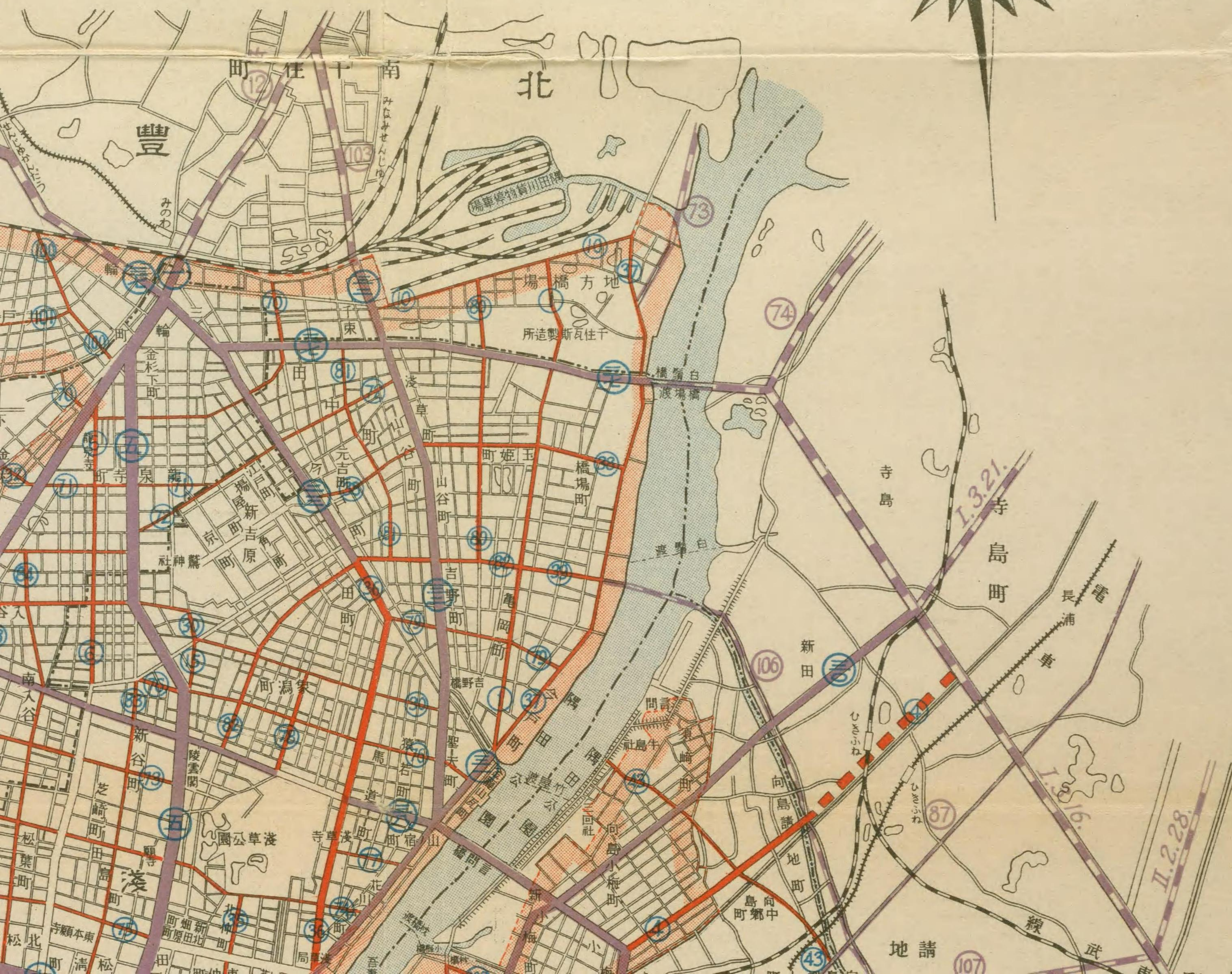
九月	二七・五〇	七・〇〇	一四・五〇		三七・五〇		三二九・五〇
十月	一七・五〇	一三・〇〇	二〇・五〇	計	二、九四〇・〇〇		

濟興街一號

ト工

事業新巻及五修運

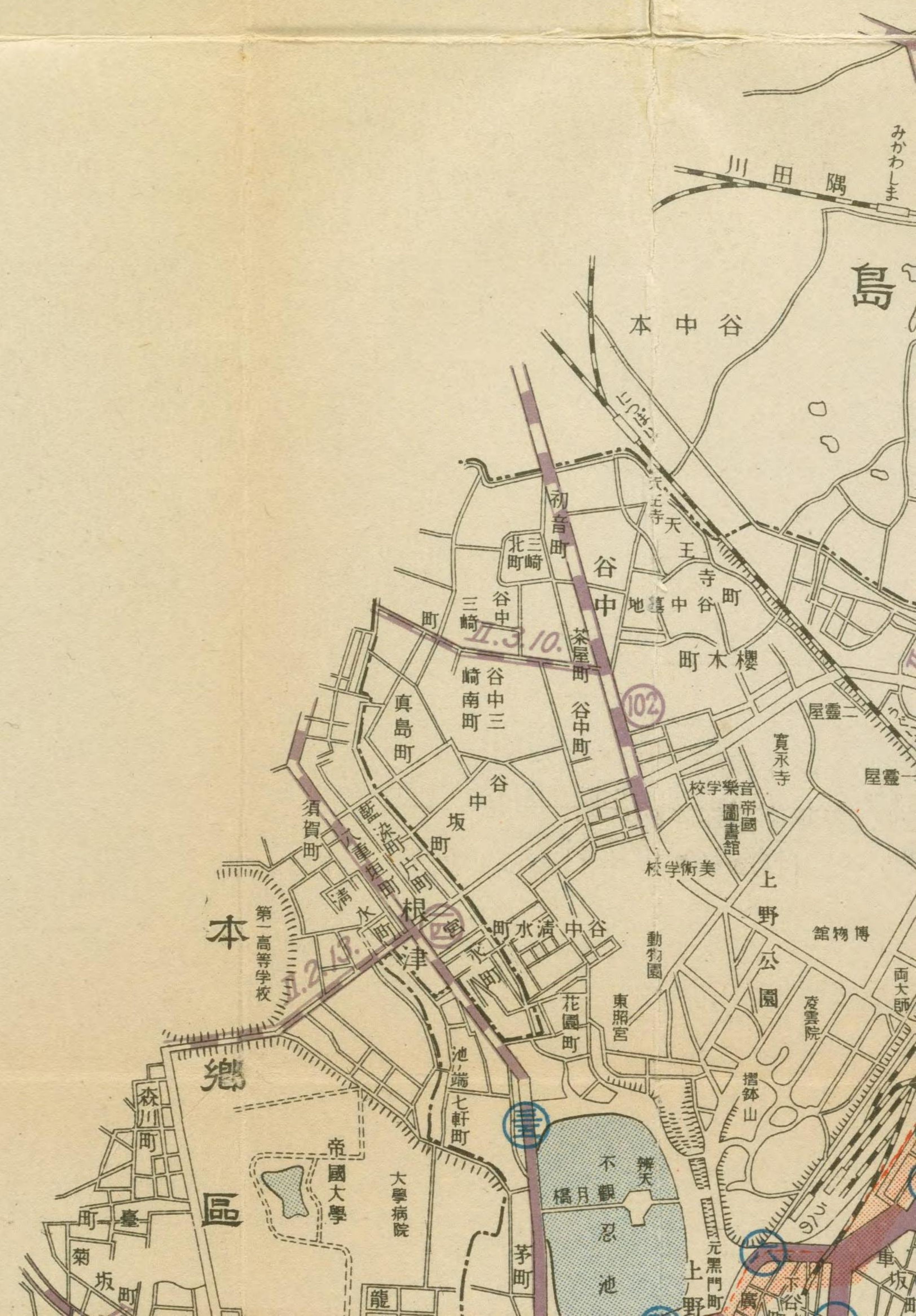
復興街

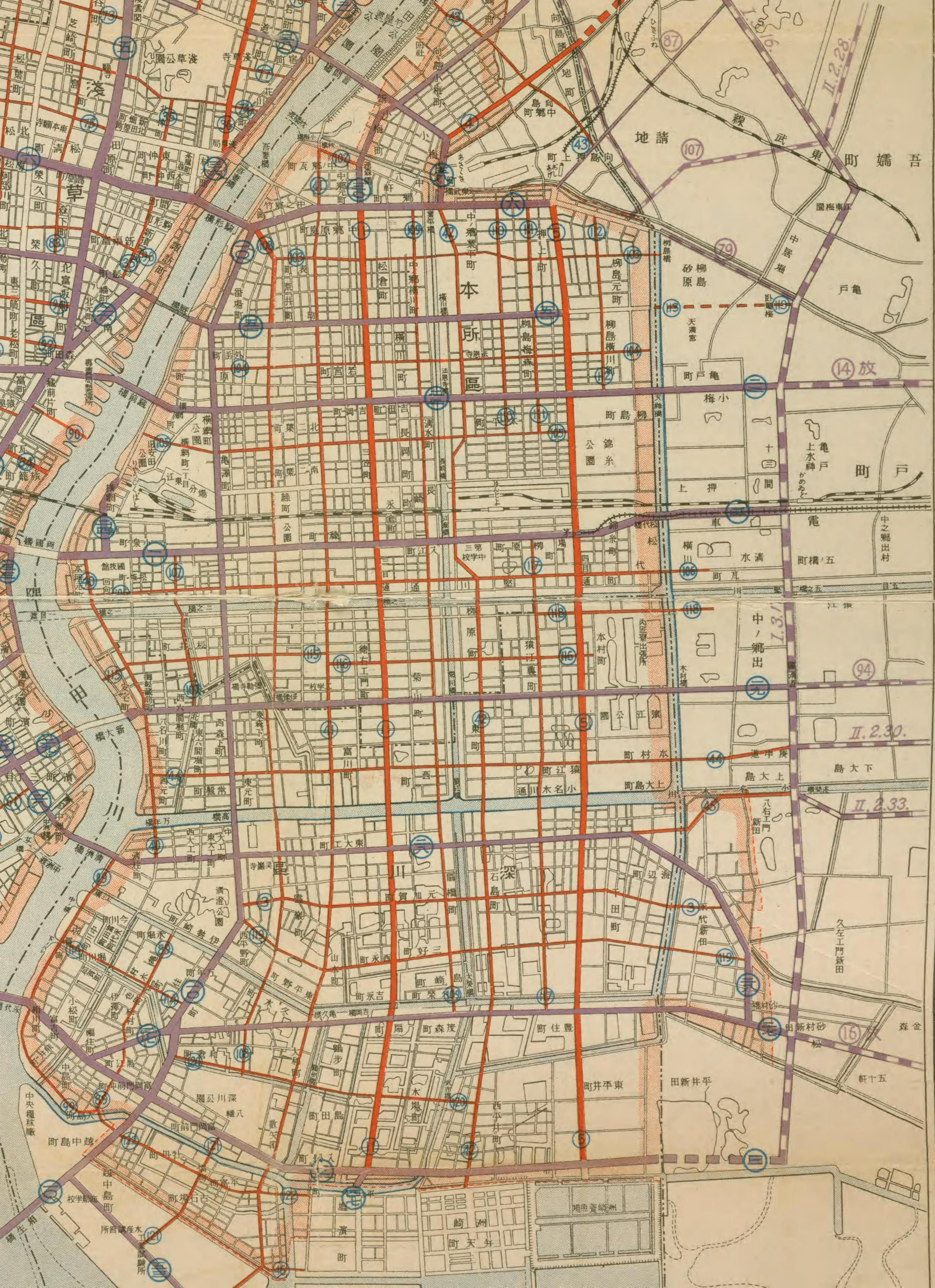


復興街路一覽圖

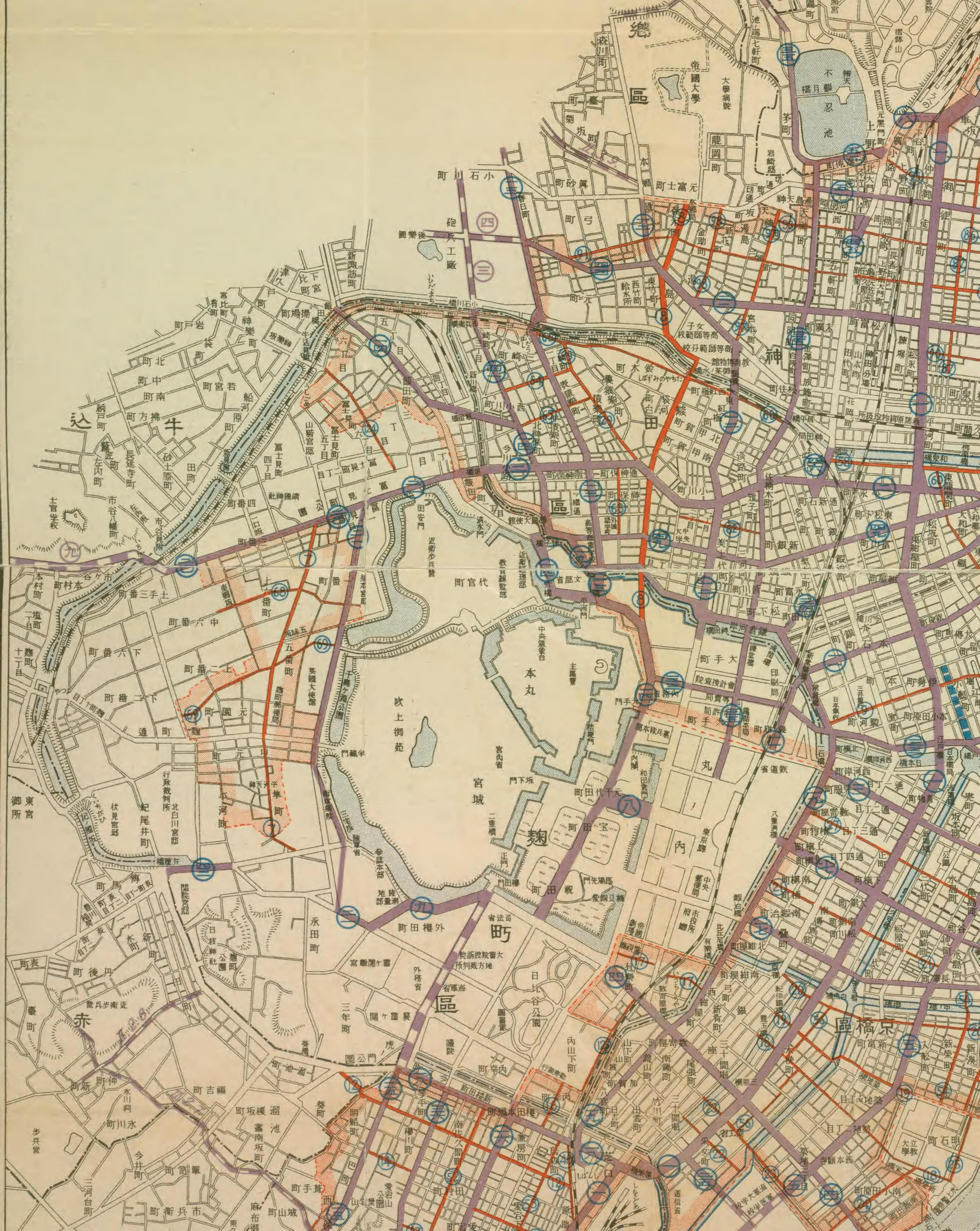


圖覽一















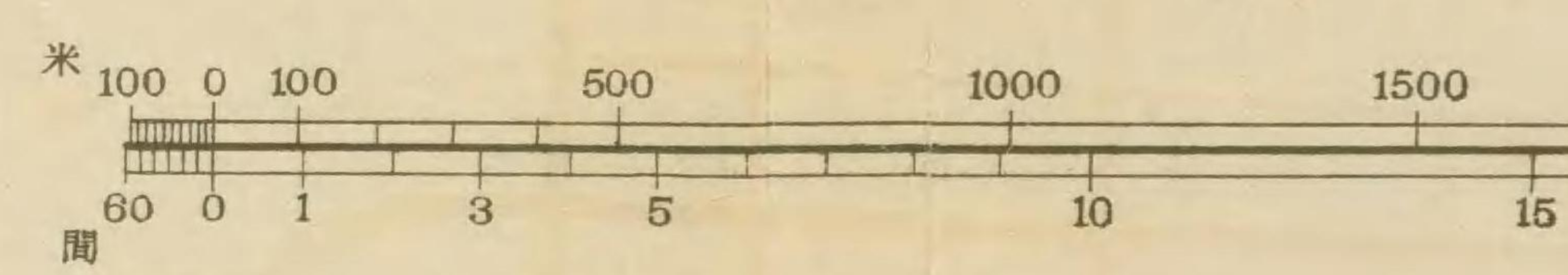









凡 例

							
現在主要河川及運河	復興事業運河埋立	復興事業新鑿及改修運河	都市計画事業街路	復興計畫補助線街路 (計画ノミニ止マルモノ)	復興計畫幹線街路 (数字ハ番号ヲ示ス)	復興事業幹線街路 (数字ハ番号ヲ示ス)	復興事業土地區画整理施行區域

縮尺二萬分の一





	復興計畫補助線街路 (計畫ノミニ止マルモ)
	都市計畫事業街路
	復興事業新鑿及改修運河
	復興事業運河埋立
	現在主要河川及運河

東京市都市計畫課

昭和七年三月二十二日印刷

昭和七年三月二十六日發行

昭和七年三月二十二日印刷
昭和七年三月二十六日發行

東京市役所

東京市芝區芝浦町三丁目二番地

印刷人 川口芳太郎

東京市芝區芝浦町三丁目二番地

印刷所 川口印刷所

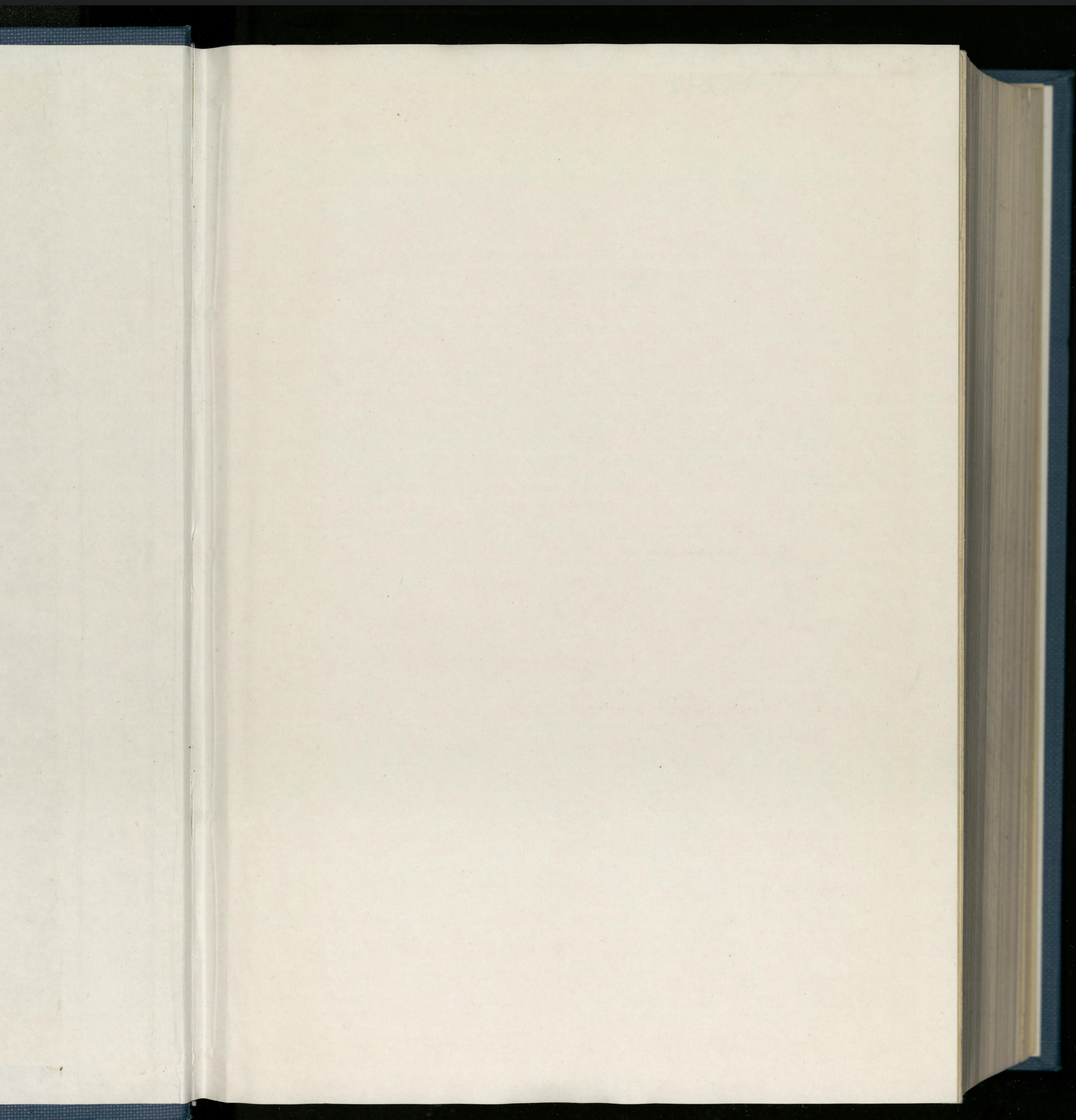
Σ 5M-31

圖書
三
二
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

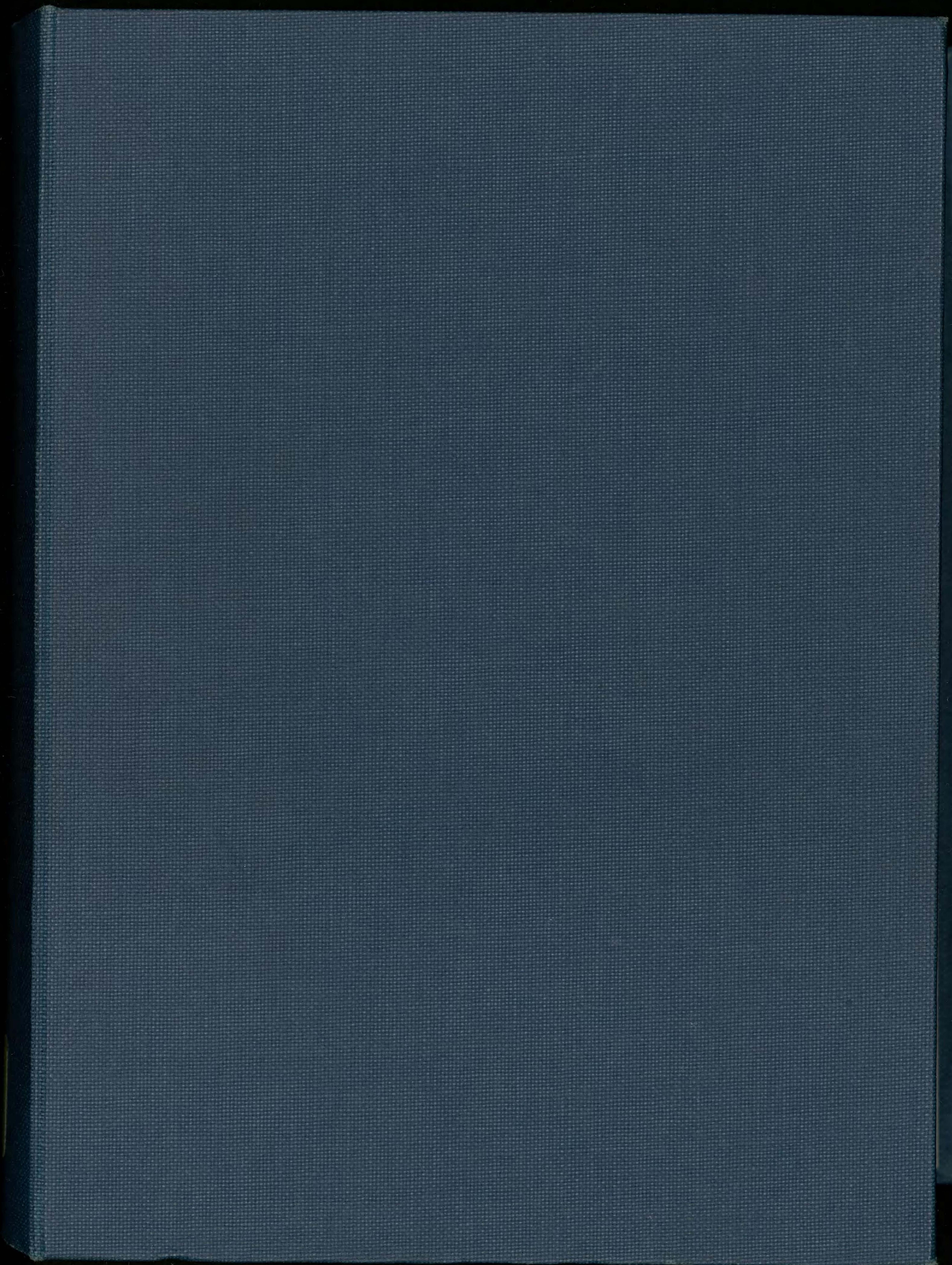
東京市立図書館

圖書
三
二
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

トエ



ト工-15-34

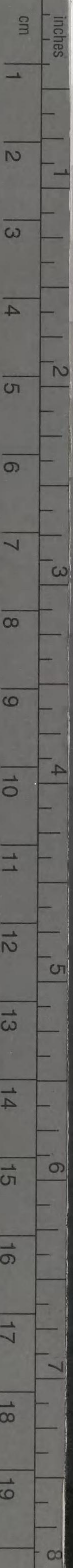


Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

